

令和3年度 第3号 (197号)

立ろうだより



令和3年6月1日 発行
東京都立立川ろう学校
校長 村野 一臣
〒190-0003
東京都立川市栄町1-15-7
電話042-523-1358
ファクシ042-523-6421



キャリア教育・自分らしく生きる



校長 村野 一臣

新緑がまぶしい季節となりました。今年は全国的に梅雨入りが早く、長い梅雨になりそうです。それでも、幼稚部から高等部まで毎日活発に学習をしたり、友達と楽しそうに話したりしている様子を見ると元気がでできます。緊急事態宣言が更に延長され様々な制約はありますが、元気をくれる子供たちのためにも教職員一同で頑張っていきます。

さて、今月は、「キャリア教育について」のお話をしたいと思います。

キャリア教育という言葉を目にする機会が増えています。学習指導要領においては、「社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けるよう、特別活動を要としてつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること」となっています。本校でも「キャリア教育」を教育の柱の一つとして、幼稚部から高等部までの計画を作って指導をしています。

キャリア教育とは何か？簡単に言うと「子供が自分らしく生きられようとする教育」となるでしょうか。広い意味で、人生において、自分の役割を果たすとともに、それぞれの個性、もち味を最大限に発揮しながら、自立して生きて行くために必要な能力や態度を育てる教育です。進路指導や進路情報など、進学や就職の決定に限定するのではなく、自分の夢や目標のために何をするか、仲間と共にもどのようにするかなども重要となります。また、聞こえのハンデをどのように自己理解し、社会や周囲に伝え、環境を整えていくかということも、ろう学校では大切な内容になります。そのため、例えば幼稚部では、「すすんであいさつをしたり、みんなの前で話したりする」「身の回りの物の始末や片付けの必要性が分かり、見通しをもって自ら取り組む」「学級での当番活動をすすんで行う」など日常生活の中の基本的なことも含まれています。家庭は、一番小さな社会となります。家庭でのルール作りやお手伝い、家族との会話など最も身近な大人との関係も大切な経験です。また、奉仕活動や職場体験などを通じた学びも大切な内容です。現在、コロナの影響で、学校外での活動が制限されていますが、体験を通じた自らの気づきが大きな成長につながります。小学部では、以前に飼育したうさぎが、残念なことに昨年天国に旅立ってしまいました。子供たちにとっても大変ショックだったと思います。飼育活動を通して生命の大切さを考えることも「キャリア教育」の一つと考えていいと思います。今小学部の理科室の前に、一匹のヒキガエルがいます。飼育委員会を中心にどのように飼育していくかを話し合っています。子供一人一人の気づきや発見が、学習意欲につながり、また、将来のことを考えるきっかけになるかもしれません。自己選択、自己決定ができるようになり、自分らしく生きていける基礎・基本をしっかりと支援していきたいです。



人気者のカエル
名前はまだまだありません